

飯田中学、ここにありき

飯田市美術博物館の庭にある安富桜の隣に「青雲」と刻まれた碑がある。昭和57(1982)年8月に、飯田高校と飯田長姫高校、双方の同窓会によって建立されたもの。

歴史を振り返れば、明治17(1884)年に、ここ飯田城の二の丸跡に長野県中学校飯田支校が設立されて南信青年の学び舎となり、同33(1900)年、長野県飯田中学校としてこの地で独立を果たした。大正14(1925)年の暮れに今の高松台に移転した。

当時の奥源次校長は移転の理由として次の3点を挙げている。

- (1) 校地が狭いこと。
- (2) 体育奨励のための運動場の不備。
- (3) 風紀上思わしからぬ学校環境。

特に(3)については「現在の学校所在地は遊廊・料理店等に近く、……運動場の周囲賤業婦の徘徊するもの多く、訓育上遺憾の点甚だ少なからず」と記されている。

大正14(1925)年11月に完成した白亜三階建ての鉄筋本校舎は県内でも注目され、翌月師走も遅く、全校がここに移ったとされる。本誌表紙画の熊谷元一さんはこの時機を運んだ一人だそうだ。



「青雲」の碑 書：前島忠夫 刻：沖田房三